

令和4年度 シラバス(情報)

学番14 新潟県立豊栄高等学校

教科(科目)	情報(情報Ⅰ)	単位数	2単位	履修学年(コース)	1学年
使用教科書	実教出版『最新情報Ⅰ』				
副教材	授業用プリント				

1 学習目標

1. 情報社会と人との関わりを理解するため、効率的なコミュニケーションの方法、コンピュータやデータの活用方法を習得することを目指す。
2. 社会、産業、生活、自然等の様々な事象を情報との結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
3. 情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 指導の重点

生徒の進路が多様であることから、次の点に配慮する。

- ① 情報社会の特性を把握し、適切に情報を扱えるような知識・技術を身につけるようにする。
- ② 効率的なコミュニケーションが実現できるように基本的な情報技術を身につけるようにする。
- ③ コンピュータで情報が処理される仕組みを理解し、より効率的なデータの活用方法の発見・解決することを目指す。
- ④ 社会の様々な問題を発見し、解決するため、問題解決の方法とプログラミングの基本を身につけるようにする。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を体系的・系統的に身につけようとしている。	情報の各分野に関する諸課題の発見・解決を目指し、社会人・職業人に求められる情報モラルや倫理観を踏まえて、知識・技術を合理的かつ創造的に解決する力を身につけようとしている。	情報が社会に果たす役割を認識し、各分野の諸課題に関心を持ち、その発見・解決を目指して主体的に取り組もうとする態度を身につけようとしている。

4 評価規準・評価方法

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を体系的・系統的に身につけようとしている。	情報の各分野に関する諸課題の発見・解決を目指し、社会人・職業人に求められる情報モラルや倫理観を踏まえて、知識・技術を合理的かつ創造的に解決する力を身につけようとしている。	情報が社会に果たす役割を認識し、各分野の諸課題に関心を持ち、その発見・解決を目指して主体的に取り組もうとする態度を身につけようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテスト・実技テストの分析 ・授業ファイル・提出物等の内容確認 などから、評価します。	以上の内容を踏まえ、 ・ペーパーテスト・実技テストの分析 ・授業ファイル・提出物等の内容確認 などから、評価します。	以上の内容を踏まえ、 ・出席状況、授業の遅刻・早退 ・授業態度(日々の授業に主体的に参加し、実習・演習などに積極的に取り組んでいること等) などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	オリエンテーション「はじめに」 第1章 情報社会と私たち	1 4 情報社会の知識	教科書 授業用プリント	授業の内容説明, 評価方法の説明 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につける。	a b	授業ファイル
5 6	第2章 メディアとデザイン	1 5 情報発信力	教科書 文書作成ソフト	メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解し、効果的なコミュニケーションを行うための表現方法を身につける。	a c	授業ファイル 実技テスト分析
7 9	第3章 システムとデジタル化	1 0 情報の知識	教科書 授業用プリント	情報システムの構成を理解し、情報のデジタル化の方法などを理解する。	a b	授業ファイル
10 11	第4章 ネットワークとセキュリティ	1 5 情報発信力	教科書 表計算ソフト	通信情報ネットワークを介したコミュニケーションの方法を理解し、情報セキュリティを確保する方法を身につける。	a b.c	授業ファイル 実技テスト分析
11 12	第5章 問題解決とその方法	1 0 情報活用力	教科書 表計算ソフト	社会の問題を解決する方法として、表計算ソフトウェアを活用して理解する。	a b.c	授業ファイル 実技テスト分析
1 2 3	第6章 アルゴリズムとプログラミング	1 5 情報創出力	教科書 表計算ソフト	目的に応じたアルゴリズムの表現方法を理解し、表計算ソフトによるプログラミングの方法を身につける。	a b	思考方法の分析 発表の様子

計70時間 (50分授業)

6 課題・提出物等

- ・ 実習での課題作品提出物
- ・ 授業ファイル(定期的な点検)
- ・ 実技以外の項目は定期考査を実施する予定
- ・ 各種課題プリント

7 担当者からの一言

コンピュータを使用した基本的な情報処理技術は、仕事の現場や進学先においても必要不可欠となっていることを認識し、意欲的に取り組みましょう。

(担当:川村 加代子)